

## ○ 授業動画に係る指導及び助言

～宮崎市立東大宮中3年 主題名：世界平和と人間愛 教材名『命のトランジットビザ』～

宮崎大学大学院教育学研究科 教授 椋木 香子

### 1 子どもが「考え」「議論する」ための指導方法の工夫について

#### 【発問の工夫】

- ・ 中心発問において杉原千畝の思いを深く考えさせるために、中心発問の前に杉原がビザを発行したことについて、「賛成か反対か」と「自分だったら発給する・発給しない」というの2つの軸で多面的・多角的に考えさせている。それにより、綺麗事でない意見や生徒の本音が出てきている。

#### 【思考ツール活用の工夫】

- ・ 座標軸で自分の意見を表明する思考ツールを活用している。座標軸での自分の考えの位置によって、意見を書くノートの色を選択させているため、ロイロノートで全体共有する際に、どの位置の意見が出ているかがすぐ分かるように工夫されている。また、今回は生徒が自分の考えを書きやすいよう、無記名で共有されるようにしている。

#### 【事前・事後指導の工夫】

- ・ 今回の教材は実在の人物を扱っており、テーマも戦争と平和に関わるため、社会科の学習と関連させる工夫を行っている。また、教科書に掲載されている同じ戦争に関わる道徳授業を事前に行い、今回の学習内容が深まるようにしている。事後指導でも学びが継続して深まるような取り組みがなされている。

### 2 ねらいに関する生徒の姿について

- ・ 差別はいけないこと、人の命は平等であることなど、世界平和や人類の幸福の基礎となる考えをもとに、杉原千畝の置かれた状況や選択について、自分自身の姿とも照らし合わせながら考えを深めている。
- ・ 授業の振り返りでは、杉原千畝の生き方・行動について「すごい」「カッコいい」という記述が多く見られた。また、「自分も人のために行動できるようになりたい」「差別などがされない社会を目指したい」という記述もあった。

### 3 指導及び助言

- ・ 本教材は前提となる知識が必要である上に、生徒にとっては身近に感じにくいテーマでもあるが、発問や思考ツールの活用、事前指導の工夫によって、生徒なりに自分自身と関わらせて考えたり、友達の意見を聞いたりしながら、多面的・多角的に考えを深めたりすることができていたと考えられる。また、座標軸で意見交換する場面では、友達の意見への質問が出て、生徒同士で主体的に学ぶ姿が見られた。
- ・ 課題としては、発表をする際に、生徒が教師側を向いて発言することが多かった点が挙げられる。生徒同士の対話が生まれる授業の工夫がなされているので、生徒同士で意見のやり取りをすることの意識をもっと生徒の中に育てたい。また、中心発問は多くの意見を聞くために、生徒同士の相互指名でも良かったと思われる。